



学校だより

平成 29 年度 7 月号
平成 29 年 6 月 30 日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

「文武両道のための試練の 7・8 月」
～文武両道の大谷口ブランドをつくろう！～

校長 汐満 猛

さて、中学 3 年生にとってよく言われるのは、「夏を制す者は受験を制す」です。3 年にとっては、まさに勝負の夏です。

その前に、体育祭のお礼を生徒諸君に言いたいと思います。地域の方からも保護者の方からも、感動したとお褒めの言葉をいただきました。行進、ラジオ体操、学年種目のムカデなど体育委員を中心に本当によく頑張りました。

次に、学校総合体育大会（以後、学総体という）のまとめをしたいと思います。正直な感想として、新人戦の結果から 3 年生がこれほど頑張ってくれるとはいい意味で想定外でした。もちろん 1・2 年生の頑張りが 3 年生の結果に結び付いていました。特筆すべきは、野球部の学総体 2 連覇です。前顧問の三浦先生率いる大原中学校、次に県決めの対戦相手は六沢先生の率いる岩槻中学校でした。この 2 試合は負けてもおかしくない試合で、逆転、延長と応援している保護者のみなさんとドラマか映画を観ている感じでした。決勝戦は、男女バスケットボール部の岩槻文化公園体育館での県決めの応援で見ることができませんでしたが、完璧な試合だったと聞いています。男女のバスケットボール部の試合は、市内の先生方が注目する試合の連続でした。惜しくも県大出場枠は逃しましたが戦術面での顧問と実際に戦う選手は確実にレベルアップしていました。とにかく保護者の応援がすごかった。

今大会もう一つのエピソードは、剣道部の男女団体の県大出場です。特に女子団体の試合は、鳥肌が立ちました。県決めの対大砂土中学校の試合では、先鋒、次鋒、が連続して倒れた後に、中堅、副将、大将が連続して勝利しました。前の試合では調子の良かった 2 人が連続して倒れたショックもあったと推察しましたが、よく頑張りました。勝利の瞬間、試合会場にどよめきが起きました。その他にも、団体種目のサッカー、男女バレーボール、男女卓球、バドミントン、ソフトテニスなど全種目が熱い試合を展開してくれました。新体操、体操など個人種目も含め、別紙の県大会出場者並びに出場チームは健闘を祈ります。吹奏楽や音楽部なども発表に向け頑張ってください。

ということで、体育祭と学総体の総括を終わりますが、この頑張りを大谷口中学校全生徒が学習に活かして欲しいと思います。しつこいですが、3 年生にとっては、1 学期と 2 学期の頑張りが全てです。1・2 年生には、次の学年がありますが 3 年生はありません。自分の進路を見据えて、しっかりとこの 7・8 月に勉強して欲しいと思います。

保護者の皆様、本校の体育祭に多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。体育委員を中心に各係が主体となって取り組んでいました。市内でも高いレベルの体育祭だったと思います。また、学総体の応援ありがとうございました。3 年生を中心に完全燃焼のいい大会でした。今後とも、教職員一同、一丸となって子ども達を熱き思いで育てていきますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域の皆様にも重ねて、子どもの見守り等よろしく願いいたします。

